

TTM研修を受講された方の声

TTM 研修を受講された方の声（会場・オンライン）を一部ご紹介します。
※アンケートに記載の会社名・役職名は当時受講いただいたときのものです

■大きな可能性を開いてくれると思います。

経営者が多忙と感じ、長時間労働で解決を図るということそのものが、時代の要請である“生産性向上”と合致しないという指摘。社員に“段取”を求める、経営者の段取りの欠如と全く同じ構図ですね。

今回の研修で、月間の労働時間を 200 時間と決めました。同時に毎年、10 時間ずつ減らしていくことに決めました。この決定による制約が、大きな可能性を開いてくれると思います。

株式会社山内儀助商店 代表取締役社長 山内 雄司 様

■自身の生産性を上げる為の仕事の「見える化」のシステム

テキスト、資料を拝見していて、最初の印象は巷にあふれるビジネス手帳のように見えて少し心配してしまいましたが、実際の活用演習を通じてその必要性、自身の生産性を上げる為の仕事の「見える化」のシステムがとてもバランスよく出来ている事に驚きました。

今まで何年も便利に使っていた手帳が急にお寒いものに見えて逆に悲しかったです。(笑)

「とりあえずがんばる」「情熱で皆を引っばる」という根性論から、これでしっかり抜け出せそうです。まず自分の生産性を上げる。話はここからですね。

有限会社協和エンジニアサービス 代表取締役 内田 信也 様

■やり残しのない人生にできるかな。

最近は、頑張っても仕事をして、やったぞ！という達成感がない。清々しい気分にならない。いつもやらねばならない事リストが頭を重くし気持ちも重くなっていました。その原因がわかりました（やっていなかったということ）。

果題が次々に解決できそうな気がしてきた。やり残しのない人生にできるかな。

株式会社正栄組 代表取締役 榎村 伴睦 様

■ 経営者としての仕事をしていなかったことがはっきり分かりました。

恥ずかしい話ですがこれまでプレイヤーの仕事に阻害され、自分が経営者としての仕事をしていなかったことがはっきり分かりました。これが一番の収穫です。

また、自分の考えていることを実現するために、社員を仕事に巻き込んでいくノウハウがありませんでした。今後は経営者の仕事をしっかりできるように、教えていただいたことを実践してまいります。

時間管理の方法を学ぶことができましたので、自分と社員の時間と労力の使い方をそれぞれの仕事に集中させることができるようになると思います。

滝澤木材有限会社 代表取締役社長 滝澤 俊文 様

■ 「時間」をマネジメントするという概念

時間は有限であるという事を再認識した研修でした。

経営者の生産性を上げる事が会社の業績に大きく関わる大切なマネジメントだという事にこの研修を通じて教えて頂きました。「これをしておかないと」「あれをやっていなかった」というミスロスが今まで自分の中で整理出来ていませんでしたが、TTM 研修を通じて業務や経営管理に対して効率よくまた的確に処理できる方法を教えて頂いたことに感謝しかありません。

頭の中が整理され、時間に追われる事が今後ない素晴らしいツールだと思いました。これをしっかり習慣付けて、自分の時間軸を自分でコントロールし、限りある時間を大切に行動し、自分の人生をより良いものにしていきます。

有限会社サワイデンキ 代表取締役 澤井 幸平 様

その他にも、これまでこのノウハウを学ばれた成長塾メンバーの声をほんの一部、ご紹介いたします。

■ 経営者の仕事が可視化されていない事実にはびっくりしました。

自分の仕事、経営者の仕事とプレイング、現場の仕事を分けることは、成長シートを実行する事で飛躍的に実行できました。

しかし、その経営者の仕事がどれだけあって、どのようなものがあって、いつまでにやらなければいけないのか可視化されていない事実にはびっくりしました。

自分にも生産性が求められている事を初めて自覚し、それをやり遂げる重要性を理解できました。

スケジュール管理とは、どういう生き方をするのかということを決める、どう時間を使うのかということを決める。時間に使われるのではなく、時間をどう使うか——経営者の生産性とは、社員の幸せに直結している責任に気づきました。

いつかこの研修のマニュアルの主語を社員にしてもらおうと思います。

社内で研修を経営者が実行し、将来、上司が部下に研修をできる仕組みをつくりたいです。

田代珈琲株式会社 代表取締役 田代 和弘 様

2011年成長塾全国大会発表

「キャリア支援企業表彰2012 ～人を育て・人が育つ企業表彰～」厚生労働大臣表彰

「ダイバーシティ経営企業100選」経済産業大臣表彰

社員ともども本来の人生を歩みたい。

優先順位の基準が明らかになった（自分の中で）。

それなのに仕事がやりきれていないのは、緊急の仕事ばかりが入ってきて、そればかりやっているからであった。それは実行するスケジュールリングができていないことと、何より組織全体の仕事のスケジュールができていないことに他ならない。

社内でこの考え方を共有させて社員ともども本来の人生を歩みたい。

時間は有限、自分が大切にしていることを大切にするための時間につかいたい。

スケジュールの転記が多いので、各シートをITで対応したらもっと効率的で有効だと思う。

有限会社中井レストラン企画 代表取締役 中井 深 様

2012年成長塾全国大会発表

「キャリア支援企業表彰2013～人を育て・人が育つ企業表彰～」

中央職業能力開発協会会長奨励賞

自分たちの生産性を見直す機会となった。

生産性向上する為に何をどのようにしたらいいか考え、知恵を出し、スピード向上をはかってきているが、スタッフだけではなく同様に私達も生産性向上のために時間やすべき仕事、事柄等を整理、棚卸しをしたい。生産性向上の為に見直す機会となった。

スタッフとの縁、スタッフの家族との縁をより強いものにする為、又、お客様との縁、絆を強くする為の最良の方法は心と心のつながりであると思うし、そうありたいと思う。思うことを行動にし、社員、家族、地域、お客様へ、行動の中で示していきたい。

スケジュール管理シートに六曜及び彼岸入り、明け、盆入り、盆明けがあると仕事柄大変助かります。

株式会社ホンダプラザ石巻 店長（受講当時） 太田 徹 様

2013年成長塾全国大会発表